

ステントグラフト内挿術

動脈の本幹である大動脈に、動脈硬化や組織の異常が原因で動脈瘤ができることがあります。動脈瘤は大きくなるにつれ、破裂や大動脈解離といった致命的なイベントが起こりやすくなります。治療方法として、人工血管の置換術とステントグラフト内挿術があります。

人工血管置換術のほうが確実性が高いものの、手術の侵襲はやや大きく体力のない患者様には不向きとなります。ステントグラフト内挿術は、大きな切開創を要せずに術後回復も早いため、手術侵襲に耐えられないような体力のない患者様も受けることができる治療です。

